



2020. 12. 17 五色台少年自然センターで撮影

ねんりん
年輪

木の切り株を見ると、しまもよう縞模様に見えます。これが年輪です。
※写真の矢印
年輪は1年に1本ずつ増えます。よって、年輪を数えると樹じゆ齢れい（木の年齢）が分かります。

では、どうして年輪ができるのでしょうか。それは、季節によって木の成長のスピードが違うからです。春は木の成長が早いので幹の色は白っぽくなります。逆に夏を過ぎると成長が遅くなり幹の色が濃こくなります。よって、1年に1本の筋すじができるわけです。

ちなみに気温があまり変化しない地域の木は、成長のスピードが変わらないので、はっきりとした年輪はできません。